か　た　ら　し　て

アーチ 通 信　第 14 号
令和元年 6 月発行

「か た ら し て」 は 三島の方言で
「なかまにいれて」 という意味です。

三島市障がいとくらしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える
“つながり”作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！　（皆さんのこえ）

★　育成会の会員さんにきいてみました！　★　～パート4　～

＜どんなお店に外食に行っていますか？どんな工夫をしていますか？＞

☆回転寿司、焼き肉、ラーメン屋さん（子どもが喜ぶ）　☆ココ壱番屋（カレー）
☆さわやか（BOX 席。他のお客さんに手が届かないように）
☆カインズホーム（沼津）のオープンスペース・モスバーガー
☆知り合いのお店　☆中華飯店　☆とんかつ系
☆声を出しても気にならないファミレス　☆トイレがひとつしかないお店は避ける
☆お店は本人が決める（おごるから行こう！と言ってくる）
☆すぐ帰れるお店
☆裾野のイタリアン「ドンボーノ」（車いす、障がい福祉事業所のお客さんも来ている）
☆車いすなので、狭いお店は避ける。トイレも確認しておく。
☆コンビニで買って家で食べる　☆外食はヘルパーさんと行ってもらう
☆個室のあるお店を予約して行く
☆ザワザワしているお店だと子どもが声を出しても気にならない（逆に、お子さんが聴覚過敏なので、ザワザワしているお店には行けないという話もありました）
☆サントムーンのフードコートは車いすでも行きやすい（テーブルに車いすをはめられる）、多目的トイレもある。
☆時間を潰せて他の人に迷惑をかけないようなものを持っていく
☆本人が外食を嫌がるので行けない（怖がる）
☆外食に行っても待てないので（食事が来るまでの間・食後家族が手べ終わるまでの間）行けない
☆親は外食に連れて行ってあげたいと思うが、子どもが感覚過敏などで苦手なお店が多く、親も本人もストレスになってしまうので行けないという家庭があることも知って欲しい。
☆事前にお店に確認したり予約するなどの準備をする

小集団音楽遊び、ピアノ個人レッスンの活動グループを紹介します。

富岡先生　　鈴木先生
元特別支援学校音楽教師　静岡県子ども読書アドバイザー

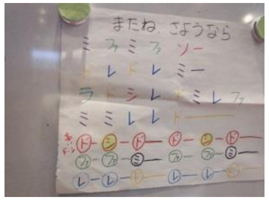
音楽がお好きなお子さんや成人の方の親御さんから、「ピアノや音楽のレッスンを受けたいのだけれど、一般の集団のレッスンには、入れない。」「個人レッスンにお願いしたけど、断られた。」と言うお話をよく耳にします。鈴木先生も富岡先生もご自身が音楽が大好きで、障がいを持っている方が音楽を楽しむことをサポートし、一緒に楽しみたいと活動されています。

小集団音楽遊び　放課後ディサービスでの活動の例

スケジュール

日本のわらべ歌	歌のおけいこ 歌いながら、体を動かして遊ぶ
絵本の読み聞かせ	クールダウンタイム
ハンドベル	一緒に音楽をつくりあげる楽しさを味わう。 回を重ねるごとに、だんだん上手になりお友達の音を聞いたり自分の音を聞いて演奏できるようになりました。

読み聞かせタイム



ハンドベルの楽譜

ピアノ個人レッスン

放課後ディサービスの事業者や、自宅レッスン、先生のお宅でのレッスンなど、本人やご家族の希望で決められます。自分の弾きたい曲などを練習します。優しい先生とのお話も楽しみのひとつです。

中学生のことば

自分のレパートリーが増えていくことが楽しみです。好きなことだから頑張れます。

サポーター紹介！

職場の写真

所属：ＮＰＯ法人エシカファーム
　　　相談支援事業所ステップ

氏名：　岩本 初美

猫おどり

趣　　　味：　旅行　函南猫おどり
好きなこと：　コンサートに行く（葉加瀬太郎のファンです）
頑張っていること：休みの日にポケモンGOをしながらの、ウオーキング
困っていること　：片付けが苦手　採血で血管が出ない事

悩　　　み：　年々横に大きくなっていること
夢のまた夢：　クルージングで世界一周旅行

アンコールワット

３大バイオリニスト

運営会議のほうこく！

日時：平成 31 年４月２２日（木）15：30～17：00　場所：三島市役所　中央町別館３階　第４会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

① 相談＆サビ管の連携プロジェクト
・「相談支援専門員＆サービス管理責任者等連携プロジェクト」を６～７月開催で予定しています。

② 三島再発見プロジェクト
・「かたらして」５月号を協議会で確認後、予定通り５/１(水）に配信します。

③ 人材育成プロジェクト
・先日のＰＴ見学会に４名の参加がありました。
・「ＴＡＢＵＮリスト」の活用・利用拡大について模索中です。“アチ研” ロゴを使用した案内で、パッケージングされた研修例も検討しています。

ネットワークミーティング(全体会)の企画について

① 開催時期
・相談＆サビ管の連携プロジェクトとは時期をずらし、年度末・年末・研修の多い 10 月を避け、９月頃の開催を目指します。

② 内容
・アーチの活動やプロジェクトの活動報告だけでなく、目的を明確にした企画立案に向け、意見交換を行いました。

その他

・協議会の運営について、中長期計画案を事務局にて立案中。今後の運営会議で検討を進めます。

おしえて　Q　&　A

“かたらして“はどのように発行される？

“かたらして”の発行に至ったいきさつ

三島の福祉資源や役立ち情報など、日常の「楽しい」や「困った」を共有できるような、枠にとらわれない情報発信を目指して創刊しました！

当初、協議会のプロジェクトとして発行体制を整えましたが、プロジェクト期間を終了した後は、編集協力委員を中心に企画・編集作業を行い、月一回の発行を行っています。

当事者・家族・支援者がつながり、協議会を知っていただけるように発行を続けています！！

編集会議の様子　（高杉さんが写っていなくて残念です・・）

“かたらして”の名前の由来

タイトルの右下に毎号記載されているとおり、「かたらして」 は 三島の方言で「なかまにいれて」 という意味です。

ネーミング検討の際に発案された、運営委員　鈴木久敬さん のアイデアを審議し、全員一致（？）で可決！　わたしたちの協議会をうまく言い表した良いネーミングだと思います！！

“かたらして”編集協力委員の紹介と役割り

橋本さん：「いいものみつけた！」の左側を担当していただいています。育成会の皆さんの声を丁寧に吸い上げ、記事にしてもらっています！

柳詰さん：「いいものみつけた！」の右側、各団体の活動内容の紹介等を担当していただき、記事投稿に協力いただいています！

朝倉さん：「サポーター紹介」のコーナーを担当していただき、相談支援事業所のスタッフ紹介を繋いでもらいました。今後、サービス管理責任者の紹介も進めたいと思っています！

佐藤さん：企画全般にアドバイスをいただき、時に、「おしえてQ&A」の記事執筆も担当していただいています！

高杉さん：事務局として、編集・企画に携わっていただいています！

高井さん：事務局として、主に紙面編集（DTP）を担当しています！

“かたらして”のこれから

今月、14 回目の発行を完了しました。バックナンバーは協議会のホームページにも掲載されています。また、各記事をデータベース化して、三島の福祉資源、皆さんの声として残していきたいと思っています。

あわせて、今後の発行をサポートしてくださるマンパワーを募集しています！
企画・編集他、記事投稿にご協力いただけるよう

よろしくお願いします！！

*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。
三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ　http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園　相談支援事業所ふぁいん　055-976-8386　sole-fine@shirt.ocn.ne.jp